

1 本市の不登校の状況及び課題

【不登校の定義】

- 年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒について調査。
- 「不登校」には、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある者（ただし、「病気」や「経済的理由」による者を除く。）を計上。（児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査）から）

【不登校の状況及び課題】 *以下は、令和3年度末時点の数値。出現率の全国及び都の数値は、今後、国から発表予定。

[不登校児童・生徒の出現率] (%)

年度	小学校						中学校					
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国	0.47	0.54	0.70	0.83	1.00	1.30	3.01	3.25	3.65	3.94	4.09	5.00
東京都	0.52	0.56	0.74	0.88	1.06	1.33	3.60	3.78	4.33	4.76	4.93	5.76
調布市	0.40	0.62	0.78	0.89	1.06	1.41	2.48	3.13	3.92	3.94	4.05	4.23
人数(人)	42	66	85	99	119	161	102	128	157	158	171	186

[学年別不登校児童・生徒数] (人)

学年	小学校						中学校		
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
H28	0	1	4	10	13	14	37	32	33
H29	4	5	9	10	17	21	37	55	36
H30	6	6	6	13	26	28	41	60	56
R1	2	12	17	16	21	31	44	58	56
R2	8	10	13	27	31	30	51	55	65
R3	8	14	21	28	47	43	43	74	69

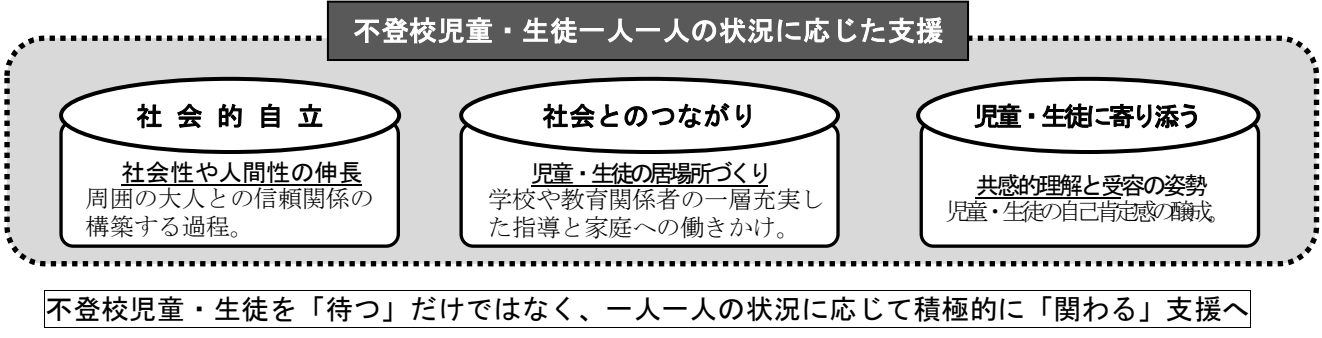
〔「太陽の子」の通室児童数及び「はしうち分教室」の在籍生徒数〕(人) 〔学校内外の機関等での相談・指導等を受けていない不登校児童・生徒数〕(人)

年度	「太陽の子」の通室児童数						「はしうち分教室」の在籍生徒数						
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
太陽の子	14	18	18	9	13	13	小学校	6	2	12	24	26	41
はしうち分教室			25	21	21	12	中学校	9	6	11	47	43	64
合計	14	18	43	30	33	25	合計	15	8	23	71	68	105

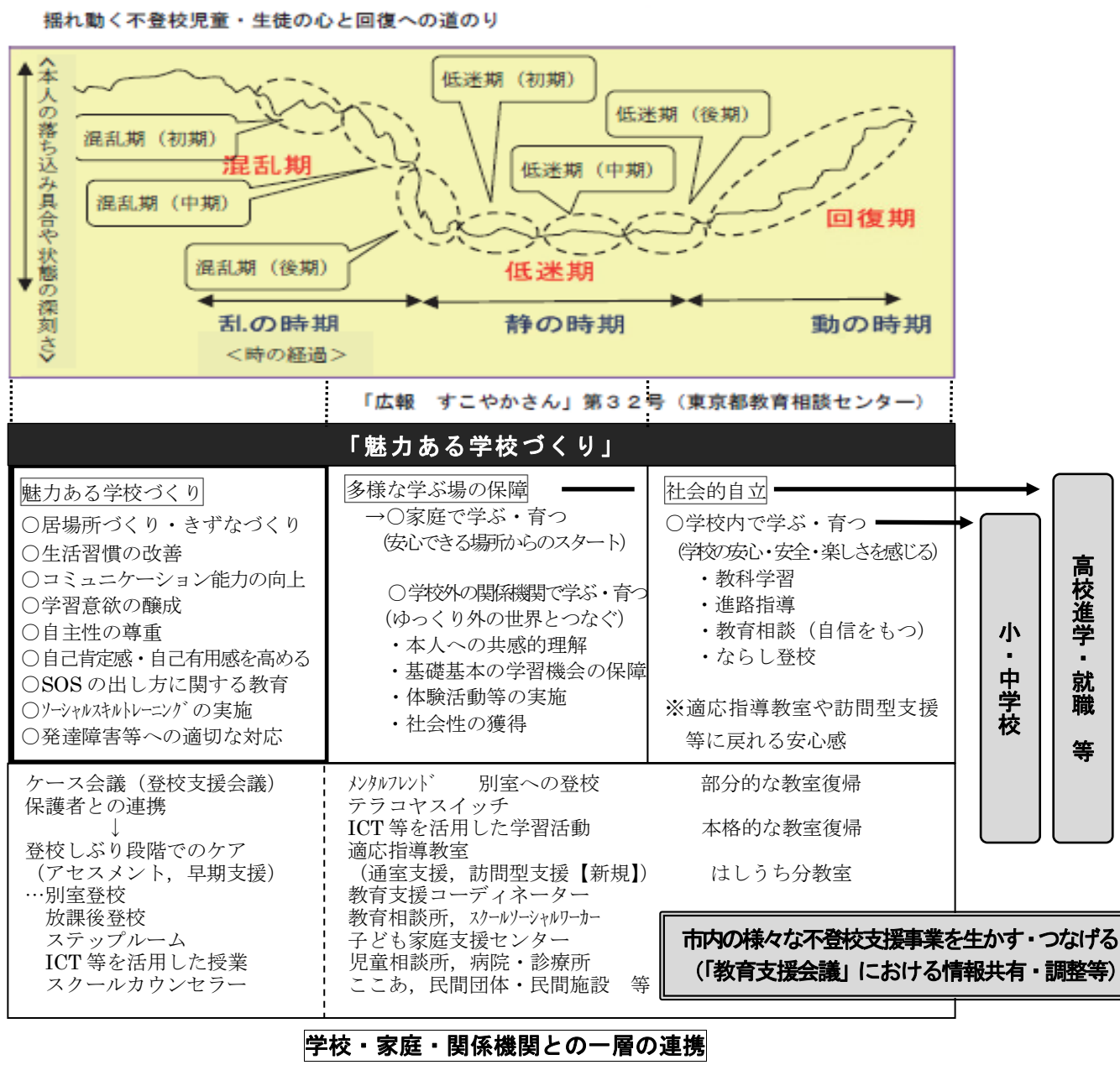
- 【状況】**
- ・不登校児童・生徒の出現率は、小学校・中学校共に増加傾向にある。平成28年度時点では、全国や東京都を下回っていたが、年々全国や東京都を上回り、特に小学校で高い割合となっている。
 - ・小学校下学年（1～3年生）における不登校児童数も近年増えてきている。
 - ・「太陽の子」や「はしうち分教室」に通っている児童・生徒はほぼ横ばいの状況となっている。
 - ・学校内外の機関等での相談・指導等を受けていない不登校児童・生徒は増加傾向にある。
- 【課題】**
- ・小学校下学年児童に対しても支援及びその体制を構築する必要がある。
 - ・「はしうち分教室」は、中学校における不登校回復期の生徒を対象としている。そのため、混乱期・低迷期の生徒に対応する支援及びその体制の構築が求められる。（各校においては、ステップループ等に対応）

不登校児童・生徒一人一人の状況に応じた多様かつ柔軟な不登校支援の展開

2 不登校児童・生徒への支援の在り方



3 不登校の段階に応じた支援例



4 新たな適応指導教室設置を見通した訪問型支援「みらい」の実際

